

ネット社会における 性暴力・性被害

～被害の現状とその対応・予防～

鳥取でも性暴力ってあるのかな？

「下着姿の写真を送れと脅されている」

「イヤなのに、スマホでエッチな動画をとられた」

「知らない間に自分のハダカの写真がネットで拡散している」など

インターネットや SNS を使った性暴力被害（デジタル性暴力）が全国的に増加しています。鳥取県内でも相談を受け、支援を行っています。

性暴力の現状やその対応について知り、誰もが被害者にも加害者にもそして傍観者にもならない社会を築くために、一緒に考えてみませんか。



鳥取会場

6月10日(土)

13:00-15:00(12:30開場)

鳥取市民交流センター 多目的室1
(鳥取市幸町71鳥取市役所内)

会場参加 定員100名
オンライン参加 ZOOMウェビナー

米子会場

6月11日(日)

10:00-12:00(9:30開場)

国際ファミリープラザ ファミリーホール
(米子市加茂町2丁目180)

会場参加 定員90名
オンライン参加 ZOOMウェビナー

参加費無料 | 手話通訳あり | 託児あり(申込締切:5月26日(金))

講師

金尻カズナさん NPO法人ぱっぷす 理事長

2004年からアダルトビデオを含むポルノ被害の深刻さを社会に訴えるために社会活動を始め、セクシャリティをめぐるさまざまな問題について取り組む。2011年以降、ネット社会によってこれまでとは次元の違う性暴力・性被害が起きており、AV出演や性産業で困った問題に直面された方への相談支援、リベンジポルノ・子どもポルノの被害相談支援など「デジタル性暴力」をめぐる相談支援に携わっている。

